

## イオングループにおける配送に係わる環境取組

グループ全体で温暖化防止宣言を宣言し各種取組をすすめている

イオングローバルSCM(株)

<http://www.aeon.info/environment/manifesto/>

項目	中項目	取組内容	詳細
車両1台あたりの排出量削減の取組	環境車両への転換	物流委託先に対して、低公害・低燃費車導入の中期目標提出を求める。車両台帳の提出によって、進捗状況を確認している。	2012年度までの目標:85%を低公害・低燃費車に。 進捗状況:年2回車両台帳により確認
	エコドライブの実施	全国の物流センターにて、エコドライブ講習会を実施している。	2009年度 実施センター:全国約30施設 実施回数:各センター2回(半年に1回) 2010年度 継続実施
		物流委託先に対し、毎月1回燃費の報告を求めている。	削減効果例:約15%の燃費改善 優秀センターの数値を参考に目標管理を実施。
		急加速・急ブレーキなどの回数を車載機から把握し、優良ドライバーを表彰している。ドライバーの意識向上により、燃費向上を目指す。 お客さまに対するエコドライブの呼びかけ。 従業員に対するエコドライブ教育。	毎月優秀ドライバーを表彰。 店舗にポスターなど掲示。
		車両の維持管理 電気自動車用の充電器の設置	点検の実施。 実験的に設置。レイクタウン 大日など。
	車両走行量の削減の取組	共同輸配送の促進	グループ企業の物流共同化を推進している。
帰り荷の確保		店舗配送の戻り便で、お取引様の商品の集荷をおこなっている。	センターから集荷を行なうことにより、持込便の削減を行なっている。
輸送頻度、納品回数の削減		車両の大型化・トレーラーによる幹線輸送の実施。 センター納品がトラック満車になるように発注調整をおこなっている。	
受発注時間と配送時間のルール 貨物輸送距離の短縮		センター納品時間を取引先単位で調整し、待ち時間をすくなくするように取組んでいる。 センター配置の見直しをおこない店舗配送距離を短縮している。	グループ各社のセンターの統廃合をすすめ配送距離を短くしている。 (2010年上期さいたまXD、下期大阪XD開設)
検品・荷役の簡略化		ASNデータによる計上を推進して検収作業を削減している。 総量納品を推進してセンターでの立会い検品の時間を削減している。 カートトラック納品により積み下ろし時間の短縮をおこなっている。	SCM改革取組みの一環として拡大実施中。 大阪XD開設を契機に、西日本エリアにて日配カート納品開始。
道路混雑時の輸配送の見直し マテハンの標準化		ドライバー情報等や過去の実績情報を収集し、センターの出発時間を早く行なうよう調整。 標準クレートの推進をおこなっている。	物流マテハンの統一をはかることにより、積載効率を向上させるよう取組んでいる。 (九州XD、大阪XDにて拡大展開中)
モーダルシフトによる取組	モーダルシフトの転換	遠隔地輸送(北海道・九州)にくわえ、主要幹線輸送(関東・関西・中部)のモーダル化を推進。 メーカー工場から北海道の当社センターまでJR輸送の取組を推進。 中国から主要港湾に荷揚げし国内横もち輸送を削減に取組んでいる。	3箇所の主要幹線施設間に加え、中部発⇒東北も開始予定。 協力メーカーさまと 新たに西日本エリアへの鉄道輸送を開始。
公共交通機関の利用促進による取組	公共交通機関の利用促進	通勤者・来訪者用の送迎バスの本数を削減。利用者の少ない便の運行を取りやめた。	1日2本削減 1年間の削減距離 12km(往復)×2本×365日=8,760km
		「お買物バスの運行」 「パークアンドライド」の拠点となる。	
		イオンモール9月1日より、鶴見と新端橋でスタートオリックス自動車と連携。	<a href="http://www.aeonmall.com/upload/1282797330.pdf">http://www.aeonmall.com/upload/1282797330.pdf</a>
		イオンリテール:ジャスコ東雲パーク24が東雲の駐車場でカーシェアの運用開始。	<a href="http://www.park24.co.jp/japanese/pressrelease/newsobj1764.cfm">http://www.park24.co.jp/japanese/pressrelease/newsobj1764.cfm</a>
		「電車であられた方にポイントをつけ、公共交通機関での来店を促す」	<a href="http://www.aeon-laketown.jp/greenscore/index.html">http://www.aeon-laketown.jp/greenscore/index.html</a>
情報化の推進の取組	情報化の推進	衛星位置情報システムによる運行状況の車両管理を実施。 取引先さまとの受発注データのEDI化の取組。	システム会社と協同で、運行管理システムを構築・活用中。 新型GPS端末へ切替予定で、従来の危険運転動態管理に加え、燃費情報の確認も可能となる予定。
施設による取組	物流施設の高度化、物流拠点の整備	エコセンターの開発。 省エネ設備の導入。	イオン九州XD、大阪XD。
関係事業者との連携	サードパーティロジスティクスの活用	当社機能会社を窓口でサードパーティロジスティクスを活用。	
	関係事業者との連携	物流委託先を集めての合同会議を開催。CO2削減目標の共有、燃費改善事例の共有などを行っている。 メーカーさま、物流委託先企業と共同で環境取組の会議を実施。	2008年度より実施(3ヶ月に1度開催)。 年間テーマとして取組む。